



すくすく えこちるっこ! ふくおか



—第16号 2015年夏—

エコチル調査にご参加のみなさまへ

エコチル調査にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

エコチル調査では2015年2月末で、すべてのお子さまが登録されたこととなります。全国計では、お母さまはおよそ10万3千人、お父さまはその約半数の5万2千人、そしてお子さまはおよそ10万人がエコチル調査にご参加くださっています。これもみなさまもご協力のおかげです。心より感謝申し上げます。

さて、今回はエコチル調査で集計されたデータの中から、お子さまの1歳6か月時の「夜寝る場所」についてご紹介いたします。

これは2015年1月25日に東京で開催された第4回エコチル調査シンポジウム（環境省主催）において公開された、2014年11月30日時点の4万人以上の回答に基づく暫定的な結果になります。

下図のように、約8割のお子さまが、いわゆる「添い寝」をしています、同じ部屋で別に寝る、別の部屋で寝るお子さまもいらっしゃいます。

福岡ユニットセンター
(産業医科大学)
(九州大学)
にご登録の参加者数
(H27.3.31現在)

7,691名

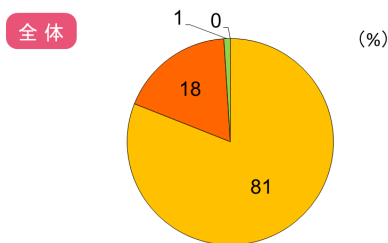
すくすく
えこちるっこ!
ふくおか



平成27年7月1日発行

1歳6か月時

夜寝る場所は主にどこですか



- 親と一緒にベッド・ふとん
- 親が寝る部屋にある親とは別のベッド・ふとん
- 親が寝る部屋以外にあるベッド・ふとん
- その他

回答数：40680件
(無回答：82件)

◆ 81%が親と一緒にベッド・布団で寝ている

※この結果は2014年11月30日時点の回答に基づくデータクリーニング前の暫定的な結果です

ちなみに、欧米では子どもの自立を促すという理由で、親が寝る部屋とは別の部屋で寝るのが一般的のようです。10年ほど前の研究になりますが、子どもの睡眠について、アメリカで販売されている育児書40冊を解析した研究があり（2006年ラモスら）、子どもが親と一緒に寝ることについて、28%の本が「賛成」、40%が「反対」、32%が「どちらとも言えない」という結果が出たそうです。

ただし、子どもを独りで寝かせる場合は、定期的に様子を見に行くことを多くの本が勧めています。日本との文化の違いが見て取れ、大変興味深い結果と思われる。

今回ご紹介したのはエコチル調査で集計されているデータのごく一部ですが、睡眠がどのように子どもの健康に関係してくるのかについては、今後の調査がとても重要です。

引き続きエコチル調査へのご協力をよろしくお願い申し上げます。



こどもの病気の基礎知識

～手足口病（てあしくちびょう）～

手足口病（てあしくちびょう）はその名の通り、手・足および口の中に水疱性の発疹が出るウイルス感染症です。いわゆる夏カゼの一種で主に夏に流行しますが、春や秋にも見られます。

発疹は、水ぼうそうとは違いやや硬く破れにくく、手のひらや足の裏に出来ることが多いです。口の中にできた発疹は口内炎となり痛みを伴うため、食欲が落ちたり、水分を取れなくなる場合があるので、注意が必要です。

発熱は39℃近くの高熱が出る場合がありますが、熱が出ない場合もあります。また、嘔吐・下痢といった胃腸炎を起こすこともあります。ごくまれに髄膜炎や脳炎、心筋炎を起こすことがあります。

ウイルスの感染経路は、飛沫感染、接触感染、糞口感染（排泄された便の中のウイルスが口から入って感染すること）です。

発症までの潜伏期間は3～5日で、発熱は1～3日、発疹は3日～1週間ほどで自然に治ります。しかし症状が治まった後も、ウイルスは感染した子どもの便から排出され続けるため、長期の出席停止が有効な感染対策とはならないことから、出席停止期間は定められていません。

一般的な感染対策は、手洗いを流水と石けんでしっかりとすること、排泄物を適切に処理することです。タオルも共用してはいけません。



手足口病には、有効なワクチンはなく、また発病を予防できる薬もありません。

治療は対症療法のみとなります。痛みや発熱があれば解熱鎮痛薬を服用し、嘔吐や脱水があれば吐き気止めを服用したり、点滴をします。発疹に対しては特に軟膏などは必要ありません。

ただし、発熱が2日以上続く、嘔吐する、頭を痛がる、視線が合わない、呼びかけに応じない、呼吸が速く息苦しそう、水分を取れずおしっこが出ない、グッタリとしているなどの症状が見られた場合には、すぐに医療機関を受診しましょう。



みなさまへのお願い～質問票のご記入について～

ご返送いただいた質問票に未記入の箇所がある場合等、事務局よりみなさまへお電話にてお問い合わせをさせていただきます。

ご連絡の際には下記フリーダイヤルからおかけいたします。ぜひご登録をお願い致します。

◆九州大学エコチル調査事務局フリーダイヤル：0120-155-539

また、事務局のホームページには、質問票ご記入の際にご参考にしていただきたい記入例を月齢ごとに掲載しています。ぜひ一度ご覧ください。

◆九州大学エコチル調査事務局ホームページ：<http://eco.kyushu-u.ac.jp/index.html>

九大 エコチル で検索

（ホームページから「よくあるご質問」→「質問票に関すること」→「質問に回答したくない場合、わからない場合はどうしたらいいの？」へ進み、該当する質問票をクリックしてください。）

ご不明な点は、上記のフリーダイヤル、またはホームページからメールにてお問い合わせをお願い致します。



～謝礼のお受け取りについて～

質問票の謝礼の図書カードは簡易書留でお送りしています。

ご不在の場合は、ポストに不在連絡票が入りますので、郵便局にご都合の良い日時をお知らせの上、お受け取りをお願い致します。

お手数をおかけいたしますが、どうぞよろしくお願い致します。

引き続きエコチル調査へのご協力を
どうぞよろしくお願い致します。

■発行

九州大学エコチル調査事務局内
すくえこ編集部

〒812-8582
福岡市東区馬出3-1-1
九州大学コラボステーションⅡ701
TEL：0120-155-539
（フリーダイヤル：携帯・PHS
からもご利用いただけます）

